

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-103047
 (43)Date of publication of application : 13.04.2001

(51)Int.Cl. H04L 9/16
 G06F 17/60
 G07F 17/00
 G09C 1/00
 G11B 19/02

(21)Application number : 11-278522

(71)Applicant : PFU LTD

(22)Date of filing : 30.09.1999

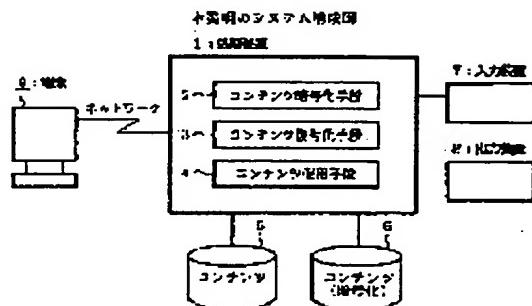
(72)Inventor : YANAGAWA MASAHIRO
MIZUNO KEISUKE

(54) DEVICE FOR DISTRIBUTING CONTENT AND RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To distribute contents, while leaving a part where audition is performed or performing simple enciphering in the case of enciphering the contents with a key, to perform audition of the part accessible to audition at a distribution destination and also to give the key to decode the other parts, so that all of the contents can be used about a contents distributing device distributing the contents and a recording medium.

SOLUTION: This contents distributing device is provided with a means which leaves a designated contents part and enciphers the other parts and a means which stores or downloads the enciphered contents in the medium.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-103047
(P2001-103047A)

(43)公開日 平成13年4月13日 (2001.4.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコト ⁸ (参考)
H 04 L 9/16		G 07 F 17/00	B 5 B 0 4 9
G 06 F 17/60		G 09 C 1/00	6 6 0 D 5 D 0 6 6
G 07 F 17/00		G 11 B 19/02	5 0 1 Q 5 J 1 0 4
G 09 C 1/00	6 6 0	H 04 L 9/00	6 4 3 9 A 0 0 1
G 11 B 19/02	5 0 1	G 06 F 15/21	Z

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平11-278522

(71)出願人 000136136

株式会社ピーエフユー

石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の
2

(72)発明者 柳川 雅裕

石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内

(72)発明者 水野 恵介

石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内

(74)代理人 100089141

弁理士 岡田 守弘

(22)出願日 平成11年9月30日(1999.9.30)

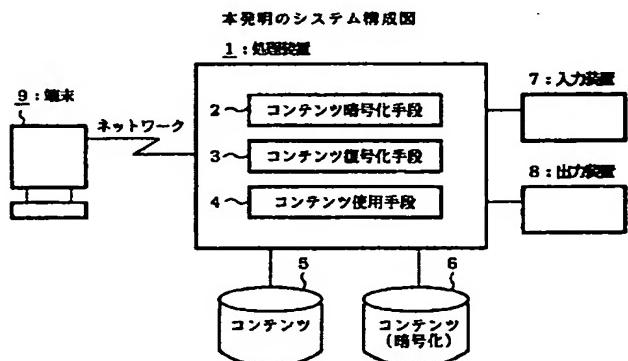
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 コンテンツ配布装置および記録媒体

(57)【要約】

【課題】 本発明は、コンテンツを配布するコンテンツ配布装置および記録媒体に関し、コンテンツを鍵で暗号化する際に試聴などする部分を残すあるいは簡易暗号化を行って配布し、配布先で試聴など可能な部分を試聴などすると共に販売時に鍵を渡して他の部分を復号して全体のコンテンツを使用可能にすることを目的とする。

【解決手段】 指定されたコンテンツの部分を残して鍵で他の部分を暗号化する手段と、暗号化した後のコンテンツを媒体に格納あるいはダウンロードする手段とを備えるように構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】コンテンツを配布するコンテンツ配布装置において、指定されたコンテンツの部分を残して他の部分を鍵で暗号化する手段と、上記暗号化した後のコンテンツを媒体に格納あるいはダウンロードする手段とを備えたことを特徴とするコンテンツ配布装置。

【請求項2】コンテンツを配布するコンテンツ配布装置において、コンテンツ毎に指定されたコンテンツの部分を残して他の部分を鍵で暗号化する手段と、上記暗号化した後のコンテンツを媒体に格納あるいはダウンロードする手段とを備えたことを特徴とするコンテンツ配布装置。

【請求項3】上記指定されたコンテンツの部分を鍵なしで復号可能な暗号化を行うことを特徴とする請求項1あるいは請求項2記載のコンテンツ配布装置。

【請求項4】上記コンテンツの名前と、コンテンツの暗号化されていない部分あるいは鍵なしで暗号化した部分の開始位置、終了位置とを少なくとも、上記コンテンツのヘッダ部分あるいは複数のコンテンツをまとめたインデックス部分に格納したことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載のコンテンツ配布装置。

【請求項5】コンテンツを配布するコンテンツ配布装置において、鍵で暗号化された部分を含むコンテンツ中の鍵で暗号化されていない部分をそのまま使用あるいは鍵なしで復号した後に使用する手段と、

指示されたコンテンツの鍵をもとに暗号化されたコンテンツの部分を復号してコンテンツの全体を記録媒体に格納あるいはダウンロードする手段とを備えたことを特徴とするコンテンツ配布装置。

【請求項6】指定されたコンテンツの部分を残して他の部分を鍵で暗号化する手段と、

上記暗号化した後のコンテンツを媒体に格納あるいはダウンロードする手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【請求項7】鍵で暗号化された部分を含むコンテンツ中の鍵で暗号化されていない部分をそのまま使用あるいは鍵なしで復号した後に使用する手段と、

指示されたコンテンツの鍵をもとに暗号化されたコンテンツの部分を復号してコンテンツの全体を記録媒体に格納あるいはダウンロードする手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、コンテンツを配布するコンテンツ配布装置および記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、音楽やビデオなどのデジタルコンテンツを暗号化してCD-ROMやDVDなどの記録媒体に記録して販売店や顧客に予め配布し、販売店や顧客の求めに応じて本部センタなどから鍵を取得して該当コンテンツを復号して媒体に記録あるいは復号したコンテンツを使用するようになっていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この際、コンテンツが暗号化されているため、配布された販売店や顧客などは別に用意された試聴用のコンテンツを試聴などして所望のコンテンツを購入すると共に本部センタなどから鍵を取得して暗号化されたコンテンツを復号して媒体に書き込むあるいは使用する必要があり、暗号化したコンテンツと販促用の試聴などする販促用コンテンツの両者を用意する必要が生じてしまう問題があった。

【0004】また、試聴用などの販促用コンテンツを別に作成する手間やそれを記録する領域が増えてしまい、コンテンツを配布する記録媒体を効率的に使用できないという問題もあった。

【0005】本発明は、これらの問題を解決するため、コンテンツを鍵で暗号化する際に試聴などする部分を残すあるいは簡易暗号化を行って配布し、配布先で試聴など可能な部分を試聴などすると共に販売時に鍵を渡して他の部分を復号して全体のコンテンツを使用可能にすることを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、処理装置1は、コンテンツの一部分を除いて鍵で暗号化して配布したり、鍵で暗号化されたコンテンツ中の鍵で暗号化されていない部分を使用させたり、鍵でコンテンツを復号して販売したりなどするものであって、ここでは、コンテンツ暗号化手段2、コンテンツ復号化手段3、およびコンテンツ使用手段4などから構成されるものである。

【0007】コンテンツ暗号化手段2は、コンテンツの1部分を除いて鍵を用いて暗号化したりなどするものである。コンテンツ復号化手段3は、鍵でコンテンツを復号したりなどするものである。

【0008】コンテンツ使用手段4は、コンテンツの鍵で暗号化されていない部分を試聴させたりなどするものである。次に、動作を説明する。

【0009】コンテンツ暗号化手段2が指定されたコンテンツの部分を残して他の部分を鍵で暗号化し、暗号化した後のコンテンツを媒体に格納あるいはネットワークを介して端末9などにダウンロードするようにしている。

【0010】また、コンテンツ暗号化手段2がコンテンツ毎に指定されたコンテンツの部分を残して他の部分を鍵で暗号化し、暗号化した後のコンテンツを媒体に格納

あるいはネットワークを介して端末9にダウンロードするようにしている。

【0011】これらの際に、指定されたコンテンツの部分を鍵なしで復号可能な暗号化を行うようにしている。また、コンテンツの名前、コンテンツの暗号化されていない部分あるいは鍵なしで暗号化された部分の開始位置と終了位置を、コンテンツのヘッダ部分に格納したり、複数のコンテンツをまとめたインデックスにまとめて格納したりするようにしている。

【0012】また、コンテンツ使用手段4が鍵で暗号化された部分を含むコンテンツ中の鍵で暗号化されていない部分をそのまま試聴（使用）あるいは鍵なしで復号した後に試聴（使用）し、コンテンツ復号手段3が販売などの指示に対応して指示されたコンテンツの鍵をもとに鍵で暗号化されたコンテンツの部分を復号してコンテンツの全体を記録媒体に格納あるいはネットワークを介して端末9などにダウンロードするようにしている。

【0013】従って、コンテンツを鍵で暗号化する際に試聴などで使用する部分を残すあるいは簡易暗号化を行って配布し、配布先で試聴などで使用する部分を簡易に使用することが可能となると共に、販売時などに鍵を渡して他の部分を復号して全体のコンテンツを使用することが可能となる。

【0014】

【実施例】次に、図1から図5を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。

【0015】図1は、本発明のシステム構成図を示す。図1において、処理装置1は、プログラムを図示外の記録媒体から読み出して主記憶にローディングして起動し以下に説明する各種処理を実行するものであって、ここでは、コンテンツ暗号化手段2、コンテンツ復号化手段3、およびコンテンツ使用手段4などから構成されるものである。

【0016】コンテンツ暗号化手段2は、コンテンツの1部分を鍵を用いて暗号化（例えば鍵を用いてDESによって暗号化）したりなどするものである。コンテンツ復号化手段3は、鍵でコンテンツを復号（例えば鍵を用いてDESによって元のコンテンツを復号）したりなどするものである。

【0017】コンテンツ使用手段4は、コンテンツの鍵で暗号化されていない部分を使用あるいは鍵を用いないで簡易に暗号化された部分を当該簡易に復号して使用（例えばコンテンツである音楽を試聴）したりなどするものである。

【0018】コンテンツ5は、鍵で暗号化前のコンテンツであって、音楽、映像、ソフトプログラムなどの顧客に販売する対象となる各種デジタルのコンテンツである。コンテンツ（暗号化）6は、鍵で1部分を暗号化した後のコンテンツである。

【0019】入力装置7は、各種データや操作指示を入

力したりするものであって、マウスやキーボードなどである。出力装置8は、コンテンツなどのデータや操作指示などを出力するものであって、表示する表示装置、印刷する印刷装置、データを格納するディスク装置などである。

【0020】端末9は、ネットワークを介して接続した端末であって、処理装置1から暗号化したコンテンツ、あるいは復号したコンテンツをダウンロードする対象の装置である。この端末9に、処理装置1が持つと同一のコンテンツ復号化手段3、コンテンツ使用手段4などを持たせ、既述したこれら手段による処理を実行させるようにもよい、次に、図2の概念図を用いて図1の構成の概念を説明する。

【0021】図2は、本発明の概念説明図を示す。図2の(a)は、すべて暗号化されたデータ（従来）を示す。これは、データ（コンテンツ）をすべて図示のように鍵を用いて暗号化したものであって、鍵無しでは復号できなく、顧客に試聴などさせることができない従来のデータ（コンテンツ）の暗号化した状態を示す。

【0022】図2の(b)は、試聴部分のみを平文で持ち、他は鍵で暗号化されたデータ（本願発明）を示す。これは、図示のように、データ（コンテンツ）の一部分、図示の平文とした記載した部分を残して他を鍵で暗号化データ1、2にそれぞれ暗号化した状態を示す。この本発明に係る暗号化したデータ（コンテンツ）は、一部分が平文のまま（あるいは鍵を用いない簡易なスクランブルなどの暗号化した）データ（コンテンツ）であって、平文のまま（あるいは簡単に復号した平文）を顧客に試聴させて、販促に使用するためのものである。従来は、図2の(a)の暗号化したデータ（コンテンツ）と別に販促用に作成した一部分を取り出して編集した平文のデータ（コンテンツ）を用意して試聴させる必要があり、当該試聴用の平文のデータ（コンテンツ）を作成および格納する媒体が余分に必要となってしまう問題があった。本発明では、これら販促用の別の平文のデータ（コンテンツ）を作成および媒体に格納する手間と媒体が不要となる。以下順次詳細に説明する。

【0023】図3は、本発明の動作説明フローチャートを示す。図3の(a)は、本発明のデータ暗号化のフローチャートを示す。図3の(a)において、S1は、暗号化のための鍵K1を決定する。これは、後述する図5の本部センタ21で用意した平文コンテンツ22について、一部分を残して暗号化するときに使用する鍵K1を決定する（例えばDESで使用する鍵K1の値（数字、記号の列）を公知の手法を用いて決定する）。

【0024】S2は、コンテンツの先頭から試聴可能開始位置までを鍵K1で暗号化する。これは、例えば後述する図4の(a)に示すように、コンテンツの先頭から試聴可能開始位置までを鍵K1で暗号化して保護領域1を作成する。

【0025】S3は、コンテンツの試聴可能終了位置から末尾までを鍵K1で暗号化する。これは、例えば後述する図4の(a)に示すように、S2で暗号化した保護領域1に続く平文（あるいは鍵を使わない簡単な暗号化した部分）の試聴可能領域の終了位置の次から末尾までを鍵K1で暗号化して保護領域2を作成する。

【0026】S4は、試聴可能領域にスクランブルをかける。これは、S2とS3で鍵K1で暗号化しないで残した平文の試聴可能領域について、ここでは、鍵を用いない簡単な暗号化としてスクランブルをかける（鍵を用いないで単にコンテンツのビットの並び順をなど入れ替えて試聴し難くする）。

【0027】以上によって、平文のコンテンツ毎に一部分を残して鍵K1で暗号化したコンテンツを作成し、鍵K1で暗号化しない平文あるいは鍵を使わないで暗号化した部分について、顧客に販促用に試聴させて販売を促進することが可能となる。この際、特別の試聴用のコンテンツを作成したり、試聴用のコンテンツを格納する領域を確保したり、試聴用のコンテンツを格納する媒体を準備したりする必要をなくすことが可能となる。

【0028】図3の(b)は、本発明のデータ復号化のフローチャートを示す。図3の(b)において、S11は、試聴可能領域のスクランブルを解除する。これは、図3の(a)で暗号化した後のコンテンツのダウンロードあるいは媒体で提供された図5の下段に図示のショップ／ホーム31で、コンテンツD1のヘッダ部分を参照して試聴可能領域の先頭位置から終了位置までのスクランブルを解除（鍵を使わないで暗号化されている試聴可能領域の暗号化を復号）する。

【0029】S12は、コンテンツIDをもとに本部センタ21へ問い合わせ、復号化の鍵K1'を得る。これは、図5のショップ／ホーム31で暗号化されたコンテンツの試聴可能領域のスクランブルをS11で解除して顧客が試聴し、コンテンツの購入を要求したときに鍵で暗号化した保護領域1、2を復号する鍵K1'（例えばDESで鍵K1で暗号化したコンテンツを復号するときに必要な鍵K1'）をネットワークを介して本部センタ21に問い合わせて取得する。この際、本部センタ21は、いずれの顧客、店舗がいずれのコンテンツを購入したかをデータベースに保存して後日、集計してコンテンツ使用料の請求を店舗あるいは顧客に請求できることとなる。

【0030】S13は、先頭から試聴可能開始位置までを鍵K1'で復号化する。これにより、後述する図5の下段のショップ／ホーム31で、暗号化されたコンテンツの先頭から試聴可能開始位置までの保護領域1を鍵K1'で平文のコンテンツに復号化できる。

【0031】S14は、試聴可能終了位置から末尾までを鍵K1'で復号化する。これにより、後述する図5の下段のショップ／ホーム31で、試聴可能終了位置の次

から末尾までの保護領域2を鍵K1'で平文のコンテンツに復号化できる。

【0032】S15は、復号化したコンテンツを媒体へ書き込む。例えば店舗であれば、媒体であるCD-R、DVD-RAMなどの大容量記録媒体に、復号した平文のコンテンツの全体を書き込んだり、ホームであればハードディスク装置やDVD-RAMに書き込んだりし、自由に平文のコンテンツを使用できる状態にする。そして、書き込んだ媒体から平文のコンテンツを読み出して使用（聞く、見る、ソフトプログラムであればパソコンの主記憶にローディングして起動し各種処理を実行）する。尚、コンテンツがソフトプログラムである場合には、使用可能領域として、機能を少なくした部分を平文あるいは鍵を使わないで暗号化しておき、この使用可能部分を用いて特徴のあるプログラムの機能を使用可能にしたり、あるいは1月などの試用期間を持つプログラムを作動させて当該試用期間のみ正常に動作するようにしておき、それ以降は鍵で解除しないと使用できないようにしておく。

【0033】以上によって、試聴用の部分を残して鍵で暗号化されたコンテンツを、店舗や家庭で試聴用の部分を試聴してよければ本部センタ21に連絡して鍵を取得して残りの鍵で暗号化された部分を復号して全体の平文のコンテンツを得て、記録媒体に書き込み、これを使用（聞く、見る、使用）することが可能となる。

【0034】図3の(c)は、本発明の試聴フローチャートを示す。図3の(c)において、S21は、試聴可能か判別する。これは、後述する図4の(a)の暗号化されたコンテンツ中の先頭のヘッダから取り出して図4の(b)に示すコンテンツ毎の試聴情報13中の試聴可否が「可」と設定されているか否かを判別する。YESの場合には、試聴しようとする暗号化されたコンテンツについて試聴可能と判明したので、S22に進む。NOの場合には、試聴不可であるので、ここでは、終了する。

【0035】S22は、S21で試聴可能と判明したので、試聴可能領域のスクランブルを解除する。これは、後述する図4の(b)のコンテンツ毎の試聴情報13中の試聴可否が「可」と設定されていたので、続いて、試聴可能開始位置から試聴可能終了位置までのスクランブルを解除する（鍵を使わない簡単な暗号化されたコンテンツの部分を元の平文のコンテンツに戻す）。

【0036】S23は、ヘッダ情報から試聴可能開始位置を得て再生位置を設定する。S24は、フェード情報を使って再生する。これは、S23で後述する図4の(b)の試聴しようとするコンテンツのヘッダ11の試聴情報13中の試聴開始位置からフェードイン時間を用いて図4の(c)に示すように徐々に例えば音量を上げ、突然に大きな音量で試聴を開始するのではなく、自然に小さな音から通常の音に徐々に大きくして再生を開

始する。また、試聴可能終了位置に近づいたときには、フェードアウト時間をもとに音量を徐々に小さくして自然に終了したように再生する。

【0037】S25は、再生位置が試聴可能終了位置以降か判別する。YESの場合には、S26で再生終了する。NOの場合には、S24を繰り返し再生し、試聴する。以上によって、コンテンツの試聴可能領域について、コンテンツのヘッダに書き込まれている試聴情報13をもとに自然の状態で試聴を行なうことが可能となる。

【0038】図4は、本発明の説明図（その1）を示す。図4の（a）は、暗号化されたコンテンツの例を示す。暗号化されたコンテンツは、図示のように、例えばコンテンツ毎に先頭から

・ヘッダ：

・コンテンツ情報12：

・コンテンツID（コンテンツを特定するためのID）：

・曲名：

・アーチスト名：

・演奏時間：

・データフォーマット（MP3 125bps等のコンテンツの圧縮フォーマット）：

・その他：

・試聴情報13：

・試聴可否：可（試聴可能）、不可（試聴許可しない）

・試聴可能開始位置：

・試聴可能終了位置：

・試聴可能領域保護方式（bit排他論理等の保護強度は弱いが、高速に復号できるスクランブル方式など）：

・フェードイン時間：

・フェードアウト時間：

・その他：

図4の（c）は、フェードイン／フェードアウトの説明図を示す。これは、図4の（b）の試聴情報13中のフェードイン時間およびフェードアウト時間の説明図である。フェードイン時間は、図示のように、図4の（a）のコンテンツの試聴可能領域の先頭から再生するときに、フェードイン時間がかかって最小の音量から通常の音量に徐々に大きくなり、自然に小さな音から通常の音で聞こえてくるように、再生時にフェード調整を行なうものである。これは、試聴可能領域は、前の保護領域1のコンテンツの音量のままで続く部分であり、特に音量の大きな部分でコンテンツを切断し、この音量の大きな部分から突然に試聴可能領域で元のコンテンツの大きな音量で再生（試聴）を開始すると違和感を顧客に与えるので、あたかも自然に小さな音量から通常の音量に徐々に大きくするいわゆるフェードイン処理を試聴時にその都度、行なうようにしたものである。これにより、保護領域1と試聴可能領域との境界を音量の大きな部分で切断しても自然の形で試聴することが可能となる。

・保護領域1（鍵で暗号化した領域）：

・試聴可能領域（平文あるいは鍵を用いない簡易な暗号化した領域）：

・保護領域2（鍵で暗号化した領域）：

となるように作成（暗号化など）する。ここで、試聴可能領域は、1個所であるが、コンテンツの販促用に複数個所必要であれば、同様に複数個所の試聴可能領域を作成する。また、ヘッダ11は、コンテンツ毎にコンテンツの先頭に付与したが、媒体に記録する複数のコンテンツ群、あるいは全部のコンテンツをまとめてインデックスを作成してその中にコンテンツ毎にヘッダ情報を格納するようにしてもよい。

【0039】図4の（b）は、ヘッダ11の情報例を示す。ここでは、コンテンツ毎のヘッダ11は、図示の下記の情報を登録する。

【0040】図5は、本発明の説明図（その2）を示す。図5において、本部センタ21は、平文コンテンツ22の一部分を残して他を鍵24で暗号化したコンテンツ23を作成するものである。鍵で暗号化したコンテンツ23は、ネットワークを介して、あるいは記録媒体に記録してショップ／ホーム32に配布する。

【0041】平文コンテンツ22は、平文のコンテンツであって、暗号化する前の状態のコンテンツである。鍵で暗号化したコンテンツ23は、試聴可能領域を残して鍵24で他の部分を暗号化したコンテンツである。

【0042】ヘッダは、コンテンツ毎に設けて既述した図4の（b）に示すコンテンツ情報12および試聴情報13を記録したものである。試聴可能領域は、平文のままのコンテンツ、あるいは鍵を用いない簡単な暗号化（例えばスクランブルによる暗号化）した領域である。

【0043】保護領域1、2は、鍵24を用いて所定方式（例えばDES方式）で暗号化したコンテンツの領域である。鍵24は、所定方式（例えばDES方式）でコ

コンテンツを暗号化するときに使用する、コンテンツ毎に使用する鍵（所定の数字、記号などの列からなる数字・記号列）である。

【0044】ショッップ／ホーム31は、本部センタ21からネットワークを介してダウンロードした、あるいは記録媒体に記録して配布を受けた鍵を用いて暗号化したコンテンツ32を保持し、コンテンツ32の試聴可能領域を試聴したり、試聴してよければ本部センタ21から鍵33を取得（コンテンツの購入に相当）して当該鍵33を用いてコンテンツ32を復号して平文のコンテンツにして媒体（DVD-RAM、ハードディスク装置などの大容量記録媒体）に書き込み、使用するものである。

【0045】以上のように、本部センタ21でコンテンツ毎に試聴可能領域を除いて鍵24で暗号化したコンテンツ23を作成し、ネットワークを介してダウンロードあるいは記録媒体に記録して配布し、配布を受けたショッップ／ホーム（店舗、あるいは家庭）でパソコンなどを用いて鍵で暗号化されたコンテンツ32の試聴可能領域を試聴してよければ鍵を本部センタ21から取得（コンテンツの購入に相当）し、当該鍵を使って暗号化されたコンテンツ32を復号して平文のコンテンツを生成して記録媒体に書き込み、使用することが可能となる。これにより、鍵を用いて暗号化したコンテンツ32のみでその試聴可能領域を顧客は試聴して購入でき、この試聴用の試聴可能領域を従来の別の媒体あるいは暗号化したコンテンツに付加するときの余分な記録領域が不要となると共に、販促用のさわりの部分を取り出して別に編集する手間が不要となり、しかも、販促用の暗号化されていないコンテンツと暗号化したコンテンツとを関連づけて管理するという煩雑な管理が不要となるというメリットがある。

【0046】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、コンテンツを鍵で暗号化する際に試聴などで使用する部

分を残すあるいは簡易暗号化を行って配布し、配布先で販促用に鍵で暗号化されていない部分を使用（例えば試聴）することが可能となると共に、販売時に鍵を取得して他の部分を復号し全体のコンテンツを使用することが可能となる。これにより、試聴などの販売プロモーションとして使用する部分を平文のコンテンツあるいは簡易暗号化したコンテンツとして残し他を鍵で暗号化することで、特別な販促用コンテンツの作成、記録、専用領域、管理が不要となるという特徴がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】本発明の概念説明図である。

【図3】本発明の動作説明フローチャートである。

【図4】本発明の説明図（その1）である。

【図5】本発明の説明図（その2）である。

【符号の説明】

1：処理装置

2：コンテンツ暗号化手段

3：コンテンツ復号化手段

4：コンテンツ使用手段

5：コンテンツ

6：コンテンツ（暗号化）

7：入力装置

8：出力装置

9：端末

11：ヘッダ

12：コンテンツ情報

13：試聴情報

21：本部センタ

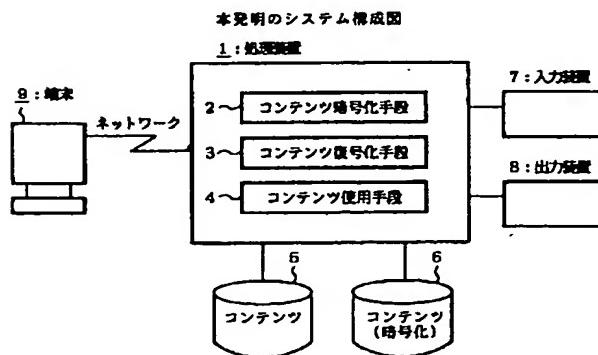
22：平文コンテンツ

23、32：鍵で暗号化したコンテンツ

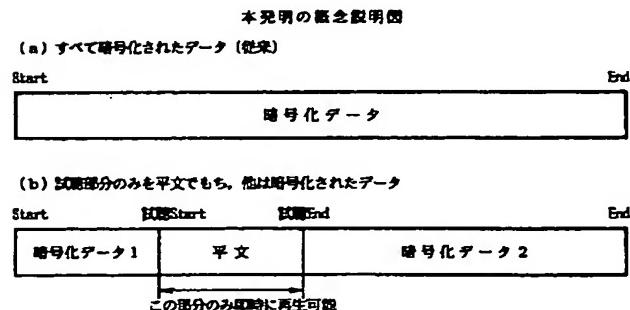
24、33：鍵

31：ショッップ／ホーム（端末）

【図1】

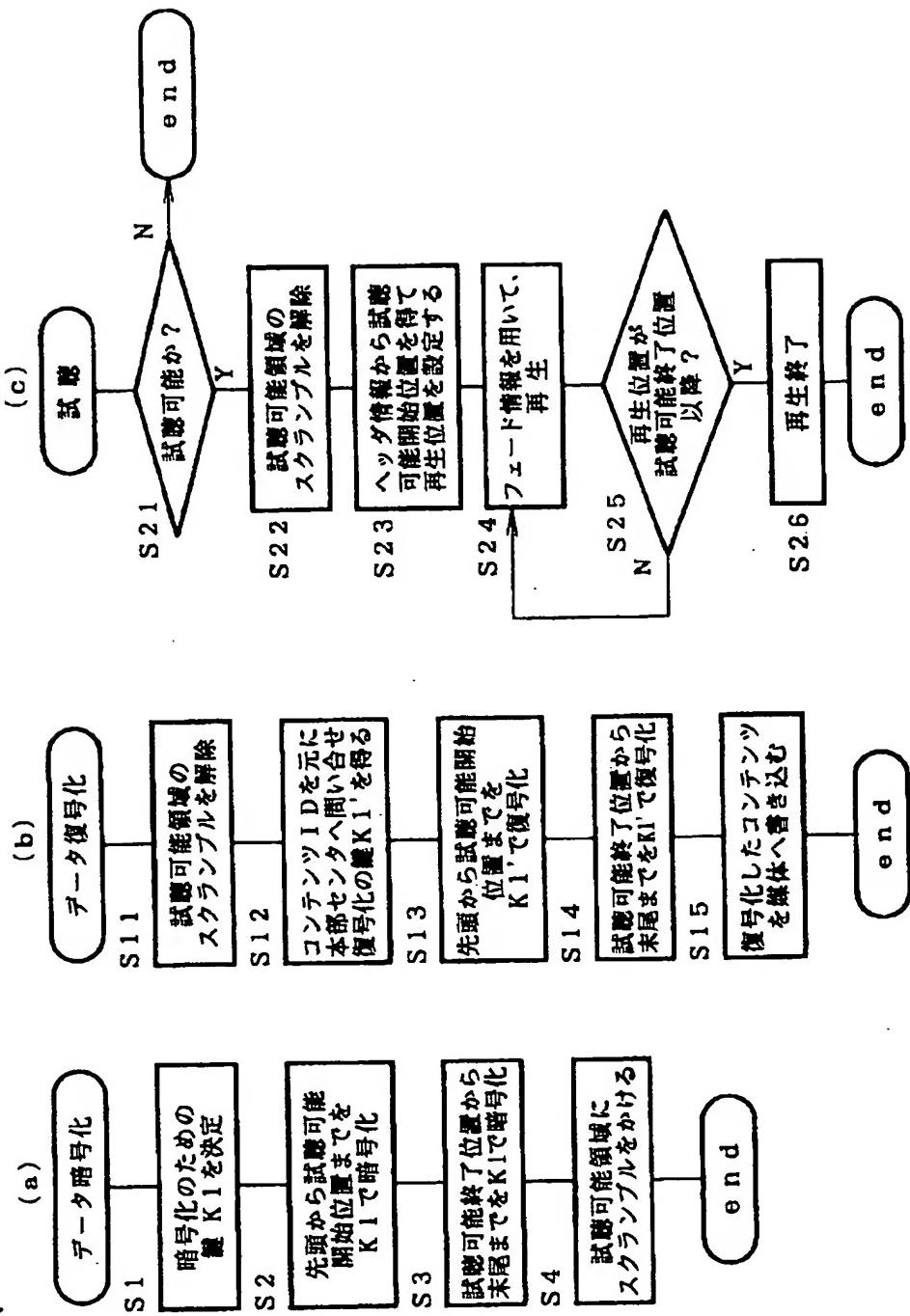


【図2】

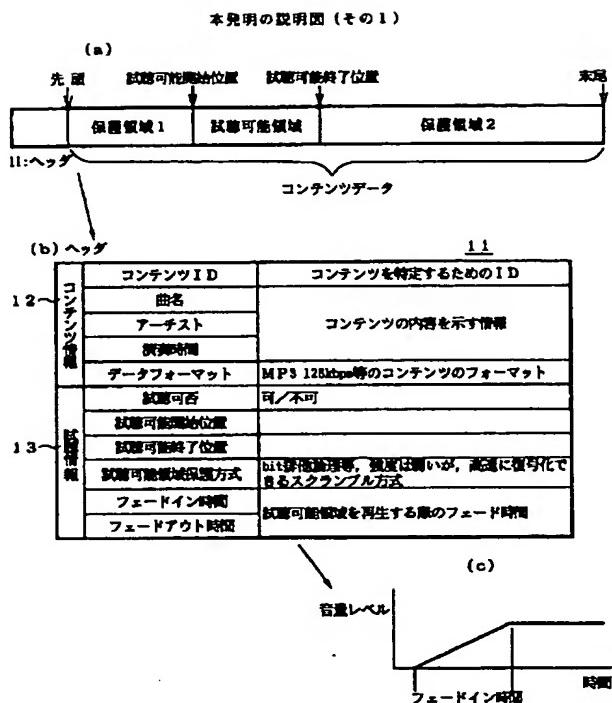


【図3】

本発明の動作説明フローチャート



〔図4〕



〔図5〕

